（二十一日夕刊）
磐城新聞
休刊　第一、三日曜大祭日
定價　一部二錢　一ヶ月六十錢　郵税十五錢
廣告料　壹行六十錢　指定廿錢増
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

撫笑記（一）
島田忠夫名を駁す
福田將夫

私が昨々日「磐城新聞」に「雪夜爐稿」なる題のもとに飯郷平記を掲載したところが、不幸にも島田忠夫君の非難交々の結果を喚び起した。

相當なる蔵積者の君としては餘りの幼稚さと淺薄の主觀の鏡に映つた勝手な所論、然して賣名的氣分を明にした「拊笑記」に對して一解剖のメスを向けることにする。

私の詩南車に對する露骨なる野次詞が、島田君へ反感を抱かせたのも無理はない。

冬枯の如き寂さした磐陽文壇を展望して進出せざる詩歌人へ、奮起の意義を深く刻み、先づ古き蹤跡を謝んできた詩南車への一鞭であり、然して詩歌人への警醒を促すべき警鐘の魁である。だが島田君は此の詞に對して、逍遥的な欺瞞行爲として私を嗤ふかも知れぬが……

「詩南車」新年號を觀て、誌面に活躍してゐる詩人達の全部が地方無名詩人の集合である。磐陽詩壇より誰がでてゐるか、詩南車を詩誌として評するより寧ろ短歌誌として擧げるのが至當である。何故に詩南車を郷土文藝誌として刊さないのか、磐陽詩人達への自由な活躍の舞臺として詩南車を解放なさぬか、それは内容價値といふ點もあらうが——別に郷土誌として「一九三〇」誌がつい此の間産聲をあげたが未だ内容に於て總てが貧しい、だが、然して、これから進んでゆく俊姿に、私達は多大なる期待をかけなければならない。そして私達のあるだけの力で育てゆかなければならないのである。

一平の詩歌人として、三野□、□閣、松本の諸氏、歌人として高久、松村の諸氏の存在もよく熟知してゐる。

私は左に列擧したる詩歌人には、相當敬意をはらつてゐるのである。

島田君は、私が平の詩歌人總てをあげつらつてゐると云つてゐるが、それは君の腦髓のもうてんであり、

島田君の「成程、現か平町が名聲ある詩歌人を出してゐないことは事實であろう、東北の寒地として止むを得ぬ」と君は云つてゐる詩歌人の産出が寒暖、即ち氣候の温徹地、加減に依つて傑した作品を名ある詩歌人が數多く出るものであろうか、君は鶏卵とも誤解してゐる。

島木赤彦だか誰だか知らぬが、一寸した名ある歌人に一日でも二日でも接すると、さも中央歌壇にでもなつた氣になり、高慢の鼻をピク、ピク動かして、吹弄したがるものである。

かゝる人間の作品などは塵土にも等しい。全國にうようよしてゐるトツカピンを常備薬としてゐる神經衰弱歌人などに謂ふべきか。

私の眼から瞥するならば島田君よ——君をば奴隷歌人とも號す。磐陽詩歌人達は君の恐劣な賣名行動のひとつひとつに對して憐憫の瞳を投射してゐるではないか。まさにそりかへりて嘲り嗤ふべきである。

□

君の所論、極めて放縦な態度にいて、拙劣なる香具師的言を弄し、亦、拾八世紀に流行せし語詞を驅使し、けむりたがらせようとする下卑な然して蕪雑な所論に對して私はひんしゆくしてゐる。かゝる歌人を存在させて置くことの出來る「いはらき」文壇の不可思議な寛容と不可思議な因襲譏とを怪しむより外はない。

私と杉澤文目との親交を表現した私の歌に對しての非難——歌として名ある島田君の餘りにどんかんな御批見を諂笑をせざるを得ない。

それに古いカビの生へた萬葉調歌人を弄して啄木との愚劣なる比較——かゝる島田君の詭辯に對し反駁して私は、短歌に於ける一動向に就いて述べ、口語歌としての價値を擧げて見る。短歌と云ふものはたゞ「やくもたつ」の古代以後萬葉古今を經て、徳川期に入り、それより明治の革新運動を通過した位の概念をもつて、これに對すると、五七五七七調の三十一音による小さな詩形が、新規に展開を示してゐることがあるいは一種の驚異であり、また無用な努力にすぎないものを印象をたくるかも知れぬ。それには亦相當の主義主張と理論とをもつた革新運動の表現であるところに、時代的な興味があるのである。

芳醇無比
白馬の雪
松本徳一吟醸
平電話七五二

明日の吉凶
舊曆十二月二十三日
新曆一月二十二日

▲一白　未だ全く平安の域に達せず爲に注意すべし▲二黒　氣を締めて掛かれば大に引立てらるゝ大吉日▲三碧　手數のみ掛かりてもその割合に利得に薄き日▲四綠　人を頼りにする時は事々に外れ勝となる▲五黄　朝の緊心は惡くとも奮闘の効大に現るべし▲六白　不注意より過誤を生じ來ることあり進むは凶▲七赤　頭ばかり先きに出でゝ足の思ふ様に進まぬ日▲八白　勇氣を振作して勵むときは大抵の事は成る▲九紫　自ら知りて高ぶらざれば發達を見るべし

講談　幕末奇傑　高山彦九郎
(47)　東西洋々作　布施長春畫

同志の家（五）

一通り挨拶が終つてから改めて主計から口をきりました

「御貴殿のことは前々から承り居り申したが、何か塚本殿御同學とか申すこと」

「はい」

彦九郎は長者に對する禮を保ち乍ら、答へました

「未熟ながら、學問の道にいそしんで居りますが、何分草深い田舎に人となりましたもの、至らぬことばかしでございます」

「いやいや、かくさるな、高山殿」

主計は、その言葉を靜かにさへぎつて

「そなたのお心も學識の程も塚本殿た手紙にてよう存じ居る」

かうもの柔かく抱きこみました。

「まあまあ御ゆるりと留まつて思ふがさゝに、御勉強なさるがよろしい!!」

「はゝつ、辱う厶います」

彦九郎は思はず兩手をつきました

「時に、塚本殿には相變らず御健勝かな」

主計は、かうたづねました。

「は」

彦九郎は思はず暗然として

「實は、塚本殿には、去月始め、敢なくなられました」

「やゝつ—なんと」

主計は、愕然として、きゝかへしました。

「それでは兇刄に相果てなされたといはるゝのか」

「はい、左様でございます」

「ふうむ」

主計の面上には一沫の殺氣がみなぎり走りました。がそれも束の間、いつか、友の臉は涙にあつく掩はれて行きました

「して、それはいつのことでござつたか」

「去月始め—左様九月八日のことでございました」

「ふうむ」

主計はたえられぬもののように瞼にあふるゝ涙を指を以て拭うて、しばし、哀悼の心を捧げてをりましたが、やがて

「して、それは如何ようの次第でか。くわしう、話して下され」

「はい」

彦九郎も懐舊の涙を新たにし乍ら語りいだしましたが、

「……塚本殿門弟の中に、西村と申す旗本の子が居りましたが、それが、いつか私どもの感化にあつたものと見えます。門弟だちの中で勤王の志をもつものから、つどひあつて、論じあふ會がございましたが、それに足繁く通ふようになりました。その門弟の多くはあの淺草□を根城に集つてゐた浪士が子や、勤王の志あつい儒者の子などでございましたが、その中にまじつてたゞ一人、旗本の子、私もなんとなく危險を感じて塚本殿にも話したのでしたが、例の□□、疑ふことの□嫌ひな塚本殿の御性質そのまゝ捨て置かれましたが、いつか少年の熱情はさめてその事々父なる旗本に云ひしものと見えます、九月八日のこと後でした。折あしく風雅の會で書齋におちこもつてゐられた塚本殿を後に殘して私が上野迄參りました留守に、西村と名乘る武士が訪れて、卑怯にも不法の抜討ち」

「うゝむ」

「それが、かの西村彦三郎なる旗本に違ひないことは、すぐに分りました。せめて一太刀、浴びせてとは思ひましたが大事の前の小事やつとはやる心をおしなだめて位碑を懐に、愴惶として江戸を後にしましたのでございます」

語り終つて彦九郎はふうつと大きく吐息しました

夜間診療
胃腸 梅毒
內科部　十二指腸虫病　専門
外科部　淋病　婦人病　皮膚病　専門
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

◎獨乙フンケル會社製
蓄音器針新荷着
◎一本の針デ五回モ使用ガ出來ル
◎高音低音ノ調節自由
◎値安ハ舶來品中デ最モ安イ勿驚
（二百本入五十錢）
△この最モ經濟的ナルアノ入針ヲ御薦メ致シマス
特約店　大谷時針病院
電話十九番

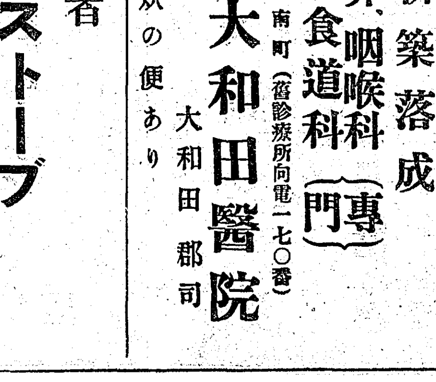
毎月一日新學期開始
生徒大募集（時間貸歡迎）（學則及び入學案内申込次第進呈す）
自動車界今後の大發展に順應せんが爲め、本校茲に見る所あり、有爲の青年の爲め奉仕的破格の授業料を特定し大募集を開始せり。機は熟せり、先づ來りて本校獨特の教授を見られん事を望む。實地練習の長時間にして學資の低廉なること全國無比、本校の最も誇りとする所なり。
本校出身者の受驗者は實に七割以上
十二月分の合格者氏名　甲種　佐川公一　小林清七　乙種　前川福松　猪狩幸七　鈴木三郎　片山政清　高木英男——見よ此事實を!!
本科　三ヶ月　三ヶ月卒業　六十圓　學科實習費共
速成科　二ヶ月　二ヶ月卒業　四十五圓　學科實習費共
受驗科　一ヶ月分　一ヶ月卒業　三十圓　學科實習費共
◎卒業生は試驗前無料練習の便あり　◎受驗準備短期練習部　毎月試驗前開始十日間全學費十圓
◎時間貸値下　新フォード　シボレー　一時間三圓　T型フォード　一時間二圓
公認　磐城自動車學校
福島縣平町四軒町電話六四〇番

新荷着ト商品全部値下
貴金屬　金側寶石入アンクル腕時計　十貮圓ヨリ
時計　クロム側寶石入アンクル腕時計　六圓ヨリ
眼鏡　十八金石入指輪　四圓ヨリ
蓄音器　精工舎製〇S印目覺時計　貮圓ヨリ
精工舎製美術硝子掛時計　貮圓ヨリ
商事會社製八日卷掛時計　五圓ヨリ
外保險付領安品澤山入荷
歳末ノ御贈答品ヲ是非
皆様ノ　金光堂時計店へ
電七三六
◎時計蓄音器修繕ハ早ク良ク安ク致シマス

三井の店舗改築披露
福引大賣出し
舊十二月廿日ヨリ　五日間
金三圓御買上毎ニ福引券呈上
特等　江戸褄　壹枚
一等　丸帶　壹本
二等　本紡績　壹反
三等　蒲團皮　壹反
四等　風呂敷　壹枚
五等　名入御手富貴　壹本
御婚禮御仕度は……今
金解禁相場の大破格品を豊富に取揃へ廉價提供可仕是非御用命の程を
店舗改築披露として金參圓御買上毎に福引券呈上致します

內臓外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

煖爐界之征服者
ネンショウストーブ
經濟的連續完全燃燒
消費節約
火防衛生
優美堅牢
簡便を欲せらるゝ御方は是非御試し下さい
御請求次第カタログ進呈



(久)　釜屋商店
電話九一・一三九番

新築落成
耳、鼻、咽喉科
氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

特賣
名入　武の園　一斤　金壹圓六十錢　貮十錢値下。
御徳用　保内園　一斤　金壹圓也　十錢値下。
其他本場狹山銘茶御菓子類も廉價提供仕候
平三町目　たけや茶舖

〇ツ石炭の特色
〇ツの石炭は常に安く良くと言ふ事を信條として居ります
目方の正確
◎石炭は只單に一俵いくらと申しても目方が正確でなければ眞に安いとは申されません
◎當店は目方の正確を期する爲めに
正味十貫目ヲ單位トシ一俵六十錢と定めました
品質の優良
〇ツの石炭は磐城炭礦、最上等の品で品質は常に一定して居ります
大量生産ですからお安く賣る事が出來る強味を持つて居ります
〇ツの石炭が他の何處の品よりも高いと御思召す場合は御手數にても御知らせ下さい。御氣に召す様に致しますから
電話一二三七番へ
平驛前
阿部石炭商店

丸山小作官補の 調停も成らず
玉川村の小作爭議 近く調停裁判に

本縣丸山小作官補は十七日以來石城郡玉川村大字杉內林城の二部落に出張同部落小作爭議調停に努めてゐたが小作人七十餘名の內四十數名は地主酒井秀次郎外二名との間に二割乃至三割の小作料減免によつて問題は解決したが外三十餘名は三割乃至四割を主張してゆづらず茲に調停成らず近く調停裁判に附されることになつたが同村役場の調査による田一反歩の收入は水害により今年は一斗二升五合で之に對し八斗乃至一石の小作料を納付せねばならぬので小作人としては全く容易でなく地主の横暴を糾彈してゐるから調停小作人の勝利に歸す模樣である

舊歲末を控ゐ 平町そろ〳〵活況
しかし內幕は悲慘

平町も附近町村が舊暦で正月をする關係から歲末らしい動きを見せて來た平町では新正月よりも舊正月が商人にとつて書き入時なので新正月の歲末よりもそれだけ活氣があり、各商店では恒例の歲末懸賞附大賣出しの準備中である、新正月の年末、年始は四苦八苦の思ひで日を送つた各商店では舊暦の正月には農家を相手なので、農家が現在の樣に經濟的に行詰まつてゐる際であるか、豫想した程賣行きがあるかどうかを考へ商品の仕入れ等も例年に比し減少してゐる、不景氣が祟つてこの舊歲末、年始の賣出しの成績の如何によつて店を閉ぢると噂されてゐる商店もあり、各商店の內幕をのぞいて見ると悲慘なものであるが、表面だけは書き入れ時の舊歲末らしい活氣を見せて來た

色魔活辯に 懲役一ヶ年の言渡
昨日平支部で開廷

東京府下蒲田町字女塚三五二生れ當時住居不定映畫說明者星野谷芳藏(三一)が昨年十月二十一、二日の兩日安達郡二本松の双松座に於て観覧中の尾形ケサノ(二四)が男に甘い女だと聞いて好奇心にかられてこれを誘拐して二十三日の朝星野谷を訪れて來たケサノと郡山行を相談し郡山より平へ二十四日の朝來り數日後懐中文無しに窮しケサノを南町中村方に二百圓前借として五十圓を受け取る相談をしたが二十八日の夜聚樂館で義太夫を觀覧中平署にとらはれた事件は營利誘拐として去る十五日午後二時から新任裁判長中島判事係り三笠檢事松野尾官選辯護人立會の上公判開廷されたが事實及證據調の後三笠檢事より痛烈な論告で懲役一年六ケ月の求刑があり松尾辯護人に之に對し熱ある減刑論あり閉廷したが二十日午後二時裁判長より懲役一年の判決言渡があつた

父の行方を 尋ね歩く
湯本の武少年

石城郡湯本町炭礦吉田初造長男武(一三)は初造が去る十日夜家出したまゝ父が歸宅しないので母親と計り父親の行へをさがしてゐたが遂に尋ぬるあてもなく父初造へ郡山に來たつて金も盡き食ふにも困り同警察署に救助方を依賴したと

寒行の喜捨で
細民に救恤する

平地方は舊正月の線香花火的な景氣も過ぎ漸く舊歲末が押寄せて一層深刻な不況を示してをり悲劇哀話が次ぎ〳〵と起つてゐる有樣で歲店長屋すまゐの細民間には言語に絶した悲慘なものがあるので石城佛教慈善會では救恤金を得るため、霜凍る二十日午前七時より寒行托鉢を始め浄財の喜捨を仰いでゐる

火防デーに 平署の宣傳
消防と協力して

二十一日の火防デーには縣各警察署並に消防組ではそれ〴〵競ふてきゝめのある火防宣傳を行なつたが平署の火防宣傳催しは次の如く奇拔なものである

△管內の乘合自動車百餘臺に火防標語入りの六型ポスターをつける

△管內二十二ケ町村の消防組幹部伍長以上約三百餘名と平署員七十餘名が總出動して毎戸について嚴重親切な火防檢査を行ふ

△管內三十四小學校に對し校長町村長、組頭警官等から兒童への火防訓話をなさしむ

△警官と消防組員とがメガホン隊を組織し管內町村を練り大々的火防運動をなす

希望と光明に輝く 磐中生の志望調べ
文、法、商科が減少し 高校師範が最多數

暖み行く陽を體に一杯あびながら未來の光明と希望とをかたる力強き學生達の卒業も進級も入學試驗も櫻咲く時と共に近ずゐて來たので平町縣立磐城中學校でも上級四五年生に對して冬期休業中に今後の進路に付ひてよく父兄と自己の才能を計り取調したが

高等學校四九 商科大學豫科八 工科大學豫科一 醫科大學豫科七、高等師範學校二四 高等工業學校二八 商大專門部二 高等商業學校八 高等商船學校七 高等農林學校五 水產講習所五 外國語學校四 海軍兵學校二 海軍機關學校二 海軍經理學校三 陸軍士官學校八・醫學專門學校一八 藥學專門學校二 慶應大學豫科二 早稲田高等學院一 國學院大學豫科三 日本大學醫科一 明治大學豫科二 大正大學一 滿州大學豫科一 遞信官吏練習所二 鐵道敎習所一 三 無線電信講習所一 臨時敎員養成所一 商大敎員養成所六 國學院大學高師部一 東京敎員養成所一 師範學校二部三九 專門學校二 智山專門學校一 體操學校一 電氣專門學校三 電氣技師一、陸軍現役志願一 敎員四 東京高等工業學校一 農業專修專門學校一 宗敎家一 繪畫研究一 未定二〇 實業一〇六 合計三九一

右の樣に高等學校が最多數次が師範學校醫學專門學校である之は言ふまでもなく就職難を意味してゐるのは事實である、其れは私立學校の文科法科商科などに進む者が尠ないのを見て充分である

明年度の 豫算緊縮で
學級を減ずる 平町の苦心

平町では既報の如く今五年度豫算編成に當り町費中最多額を占むる敎育費を四年度より約一割五分減の方針を取つて居るが先す學校當局との打合せの結果一學級現在收容數五十四、五名を約七十名限度とし現在の第一第二合計學級數は六十六學級で其の中高等科十學級（一校五二校五）尋常科五十六學級であるが高等科から二學級を減じ八學級とし尋常科から四學級を減じて五十二學級とし合計六十學級として六學級を減ずす方法を構じて居るが尚洩れ聞く處によると第一校二十三學級第二校二十一學級第三校十三校級にする樣な風說もある

電燈値下げの 委員會を
廿三日午後一時 平町役場に

二十三日午後一時から平町役場で例の電燈値下問題の委員會を開き實行委員から新たに公認委員を求め尚今後の實行具体案に付き協議すると

礦山詐欺 四倉署で
逮捕す 長野縣の男

四倉署では十九日午後十時頃同町を徘徊する年齡四十歲前後の擧動不審の男を取押へ本署へ引致の上極秘密裡に取調べ中であるが探聞するに同人は長野縣生れで齋藤正直(四〇)と稱する山形縣下で可成り大仕掛けに礦山詐欺を働いた犯人らしい

二千餘圓の 貯金通帳を猫婆
平町で遊興消費

石城郡渡邊村上竈下山田安吉(三〇)は昨年十月中に同村下山田房吉の貯金通帳二千二十七圓預入を拾得したを奇貨として十二月十九日郡山局から七百圓を引出し平町その他で費消した事發覺二十日夕刻平署に逮捕され取調を受けてゐるが通帳は拾つたものでなく窃取したものとも云はれてゐる

植田理髪組合

植田理髪組合では豫て講習會を開きつゝあつたが今回講師植田町山野邊醫師に對し記念として大鏡を贈つた

磐女生が 入選す
縣下で一名

磐城高等女學校四年生箱崎とく(一七)さんは東京美術學校に於て過般全國女學校生徒より募集した女生徒の浴衣圖案に應募し總點數一萬餘點の內入選百點の內に加はつた旨此の程同校に通知あつたが近く表彰を受くる事となつた

子供の感冒は 恐ろしい結果に
襲來を防ぐ 豫防と手當

寒さが增すに從つて幼兒の感冒が激增して參ります。大人ですとかせ位を捨てゝおいてもなをる場合が多いのですが抵抗力のよわい幼乳兒は初めは鼻風位でもちきに進んで氣管支カタル、肺炎となり又は續いて消化不良等を起し易く又『熱性感冒』と云つて初めから高熱を發して急激な症狀を呈するものもありまして之等のために死亡する幼乳兒の數は毎冬非常に多いのですから小さい赤ちやんを持つ親達はこれからの感冒に對して餘程注意が肝要であります。

豫防法としては

一、家に感冒にかゝつた人があつたならなるべく幼兒をそばへ接近させぬ樣にせねばなりません

一、また乳兒は抵抗力の弱いものですからこれからの寒い夜の外氣の中や空氣のにごつた人ごみの中等にはつれださぬやうにしたいものです

一、入浴はなるべく晝間のあたゝかい時をえらび後はすぐ寢かせるやうにいたします

四、併しあまり用心にすぎて平常から厚すぎる着物にくるんでたく事はかへつて皮膚を弱めて一寸薄着をさしてもすぐ風ひくやうになりますから適度にすることが必要です

然し一旦發熱して咳嗽が出たりしてかせにかゝつた症狀が現れたら早速その手當をしなくてはなりません

手當としては

一、まつあたゝかにして靜かに寢かしておくことが第一です風邪氣があるのに戸外につれ出したりた湯に入れたりすることは最も禁物であります

二、室はあたゝかにしてすき間風の入らぬやう晝夜の溫度の差の甚しくないやうに注意をします、かつ空氣の乾燥することは氣道をしげきして害がありますから常に水蒸氣をたてゝ室內の空氣をやゝしめしておきます

三、高い熱があるときはひよう嚢水枕または冷した布を額に當てゝ頭を冷してやります、しかし乳兒は体溫の變化の甚しいものですからシバ〳〵体溫を計つてそれに應じてやり余り冷しすぎてわざはいを招くことのないやうに注意を要します

四、またせきのでるときには一日三、四回吸入をすることも必要ですこれは蒸氣が割合に氣管の奥にまで入りますので、氣道の乾燥を防ぎそこに附着してゐる粘液をよう解しまたは分泌を制限していん症を和げ、咳をしづめるの利があります、吸入藥としては幼兒には一二%重曹グリセリン水が最もよいのです、また吸入の後は濕疹等を起しやすいものですからよく顏をふいてやらねばなりません

五、口中には平常からいろ〳〵のばい菌がありますが熱のある時等には尙繁殖しやすいものですが幼兒には大人の樣にうがいが出來ませんから重曹水か、ほう酸水を布か毛筆につけて時々口腔をふいてやります

六、更に進んで氣管支炎を起したときには胸部に濕布をしますこれは皮膚の表面に充血せしめて患部のいん症を去らせる目的ですから溫湯で結構ですから二、三時間毎に交換をします、尙近頃濕布代用藥として發賣されてゐるものを用ひれば一日一、二回とり換へればよいのですから便利であります

七、又寒冒 時には胃腸も弱つて消化不良等を起しやすいものですからなるべく母乳だけを與へて代の不消化物は與へないやうに氣をつけるがよろしい

八、また近頃はどの家庭でもアスピリン等の解熱藥をしないで少し熱があるとすぐ用ひることが行はれおりますが、乳兒には量を誤るとかへつて害がありますから素人の方は幼兒に用ひない方が安全です

然し乳兒の寒冒は前に申した通りなか〳〵危險なものとなりますから少しでも熱が續くやうでしたら早速小兒科醫の診察をうけることが最も肝要であります

解散を前に 選擧名簿の
大整理に 大童べの平町

第五十七議會は愈々同二十一日風雲をはらんで開會されたが必然的に解散を豫想し縣政界はまさに緊張の最高調に達してゐる石城郡下の立補者の戚振は一部をのぞきては情火となつてゐるが一方平町役場に於ては早くも選擧名簿の整理にいそがはしく近く解散をまつて發表されるであらうが平町に於ける衆議員選擧權資格者は約四千三百一名であるが一部寄留者關係で變化はあらうが多きな變動はなからう

借金を拒絶 されて暴行
火箸で右眼を突きさす

石城郡荷身夫村大字富井前堀井鐵平(六五)は十九日午後八時ころ姪の夫同郡錦村大字大關山田冬吉(四九)方に至り舊暮に必要なのだが金を貸してくれと申込んだところ冬吉は都合が惡いと一言の下にこれを拒絶したゝめ鐵平は義理も情も知らぬ奴だと傍らにあつた火鉢から火箸を取上げ冬吉に躍りかゝり右眼にこれを突きさした上更に顔面その他に重傷を與へたので冬吉は人殺しと悲鳴をあげ戸外へ逃げ出したがなほも追跡して暴行を働かんとするを急報に接した植田署員に取押へられ嚴重取調べを受けてゐる

口論して娘家出

石城郡平町一丁目作山かね方發女下村みや(一九)は去る十七日かねと口論したことから家出し行衛不明となつたので同家では驚いて搜索願を出したが福島市內に潜伏してゐるらしい形跡あり平署から搜査方二十日福島署へ依賴して來た

變態的な 惡天候に
農作物が 變則な發育

石城郡地方は寒に入つてから二三日は今迄にない樣な寒さであつたが其後は天候が定まらず、陽春三月頃の暖かさになるかと思ひば夕刻になつて降霜があり變態的な天候が續いてゐることに舊臘中の暖氣が祟つて麥作等も被害を受けるのではないかと氣付かはれてゐたが目下の處では別段被害を見るべきものはなく郡南方部に於て麥が莖葉が變則的に發育してゐるからと氣付かつてゐる程度のものである而してこの變態的の天候が續くとすれば麥作のみでなく一般の農作物に相當被害があるものとみられ農家では毎日の天候を氣遣つてゐる

平町人事

出生

仲間町六五眞弓萬助氏長女ヤサ子
立町五一櫻本光氏二女アヤ子
研町八伴喜三治氏三男吉治
長橋町三十箱崎ツネ女長女美枝子
町櫻三十一服部甲氏長男徹夫

死亡

新川町三十一金津政友郎氏養女マサ(一九)
久保町廿三佐竹駒治氏妻ふさの(五六)

◎ネイシヨンストーブ 値下斷行
◎ネンシヨウストーブ
連續完全燃燒、燃料經濟、調節自在、堅牢優美、價格低廉
◎スタデリナ石油コンロ
◎及、林內式石油ストーブ
燃料經濟薪炭ニ勝ル、便利ニシテ使用簡易ナリ無煙無臭點滅調節自在ニシテ体裁優美ナリ緊縮時代ニ最モ理想的國產品デアリマス弊所ハ是ガ製造元ト特約ナシ極メテ薄利多賣主義ヲ以ツテ皆樣ノ御需ニ應ジマス是非御試シノ程願上升
日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油會社重油特約店
諏訪電氣株式會社カーバイト特約店
茨城縣下館驛前(電話五五番)
商號 吉田油槽所
本店 關彰商店
常磐線平町一丁目(電話六一番)(九〇二番)
關彰商店平支店

X光線科
外科專門
入院隨意(自炊の便あり)
平南町
上田外科醫院
電話一二九

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルツー、ブランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舖
たはなし 三番

田町松月堂隣
サロンのバーには
何時も生ビールを準備してあります、そしてアイスクリームも十人前以上の御注文には何時も應じます。
冬のアイスクリームの後のコーヒーの味と酔醒めの後の水の味と何れが？
廿五日のクリスマス當日よりサロンでは七面鳥の御料理を種々と調理して御座います
何卒御家族御同伴で御試食の程を………
美味で評判の きもちよい サロン
電話三五二番

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの